

令和7年度進行管理・評価シート
杵築市歴史的風致維持向上計画（令和3年3月23日認定）

□進捗評価シート(様式1)

| | | |
|----------------------------------|-------|-----------|
| ①組織体制(様式1-1) | | |
| 1 杵築市歴史的風致維持向上計画の組織体制 | | 1 |
| ②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2) | | |
| 1 都市計画との連携 | | 2 |
| 2 杵築市農業振興地域整備計画との連携 | | 3 |
| 3 杵築市景観計画との連携 | | 4 |
| 4 杵築市北台南台伝統的建造物群保存地区保存計画との連携 | | 5 |
| 5 大分県屋外広告物条例との連携 | | 6 |
| ③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3) | | |
| 1 重要伝統的建造物群保存地区保存整備事業 | | 7 |
| 2 歴史的風致形成建造物の保存対策事業 | | 8 |
| 3 歴史的建造物腐朽等対策事業 | | 9 |
| 4 歴史的建造物保存対策調査事業 | | 10 |
| 5 史跡杵築城跡保存活用計画策定事業 | | 11 |
| 6 重要伝統的建造物群保存地区の修景事業 | | 12 |
| 7 地区計画修景支援事業 | | 13 |
| 8 空家活用支援事業 | | 14 |
| 9 伝統文化記録調査事業 | | 15 |
| 10 文化財保存活用地域計画作成事業 | | 16 |
| 11 文化財案内板等整備事業 | | 17 |
| 12 歴史資料収蔵庫整備事業 | | 18 |
| ④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4) | | |
| 1 文化財の保存又は活用に関する事項 | | 19 |
| 2 文化財の修理(整備)に関する事項 | | 20 |
| 3 文化財の保存・活用を行うための施設に関する事項 | | 21 |
| 4 文化財の周辺環境の保全に関する事項 | | 22 |
| 5 文化財の防災に関する事項 | | 23 |
| 6 文化財の保存及び活用の普及・啓発に関する事項 | | 24 |
| 7 埋蔵文化財の取扱いに関する事項 | | 25 |
| 8 教育委員会等の体制に関する事項 | | 26 |
| 9 各種団体の体制整備に関する事項 | | 27 |
| ⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5) | | |
| 1 杵築市の歴史まちづくりに関する報道 | | 28 |
| ⑥その他(効果等)(様式1-6) | | |
| 1 重点地区内の歴史的まちなみ景観への全国的注目と活用について | | 29 |
| □法定協議会等におけるコメントシート(様式2) | | 30 |

評価軸①-1
組織体制

| 項目 | 評価対象年度 | 令和7年度 |
|---------------------|--------|---|
| | | 現在の状況 |
| 杵築市歴史的風致維持向上計画の組織体制 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

計画に記載している内容

本計画の実施体制は、みらい都市創生課及び文化・スポーツ振興課を事務局とし、関係各課との連絡調整により、担当者会議を行う庁内推進体制とする。
 歴史まちづくり法第11条の規定に基づく杵築市歴史的風致維持向上協議会から計画書への提案、意見を受け、事業を推進していく。
 また、文化財の所有者や文化財保護、まちづくり団体、住民等との連絡調整を行うほか、国及び大分県と協議し、助言を受ける。必要に応じて、都市計画審議会や文化財調査委員会へも報告を行い、意見を求めつつ、事業を推進していく。

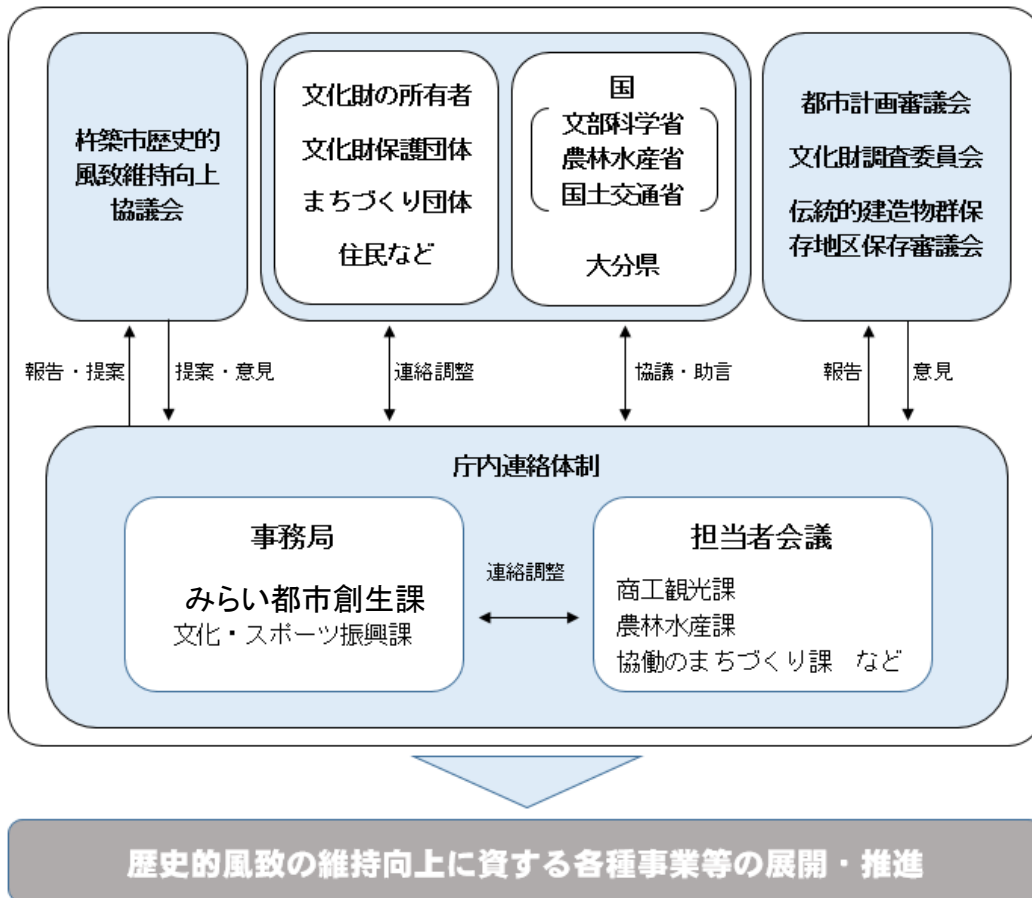
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

事務局のみらい都市創生課(都市計画担当)と文化・スポーツ振興課(文化財担当)が連携して事業を推進している。
 令和8年5月22日 第1回杵築市歴史的風致維持向上協議会を開催し、令和7年度事業についての進捗評価を行った。

| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
|--|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 各種事業を円滑に推進していくため、各種補助事業の積極的な活用、周辺住民の合意形成を図っていく必要がある。 歴史まちづくりに関する情報を発信し、市民の意識向上を図る必要がある。 |

状況を示す写真や資料等

【歴史的風致維持向上計画の策定体制】

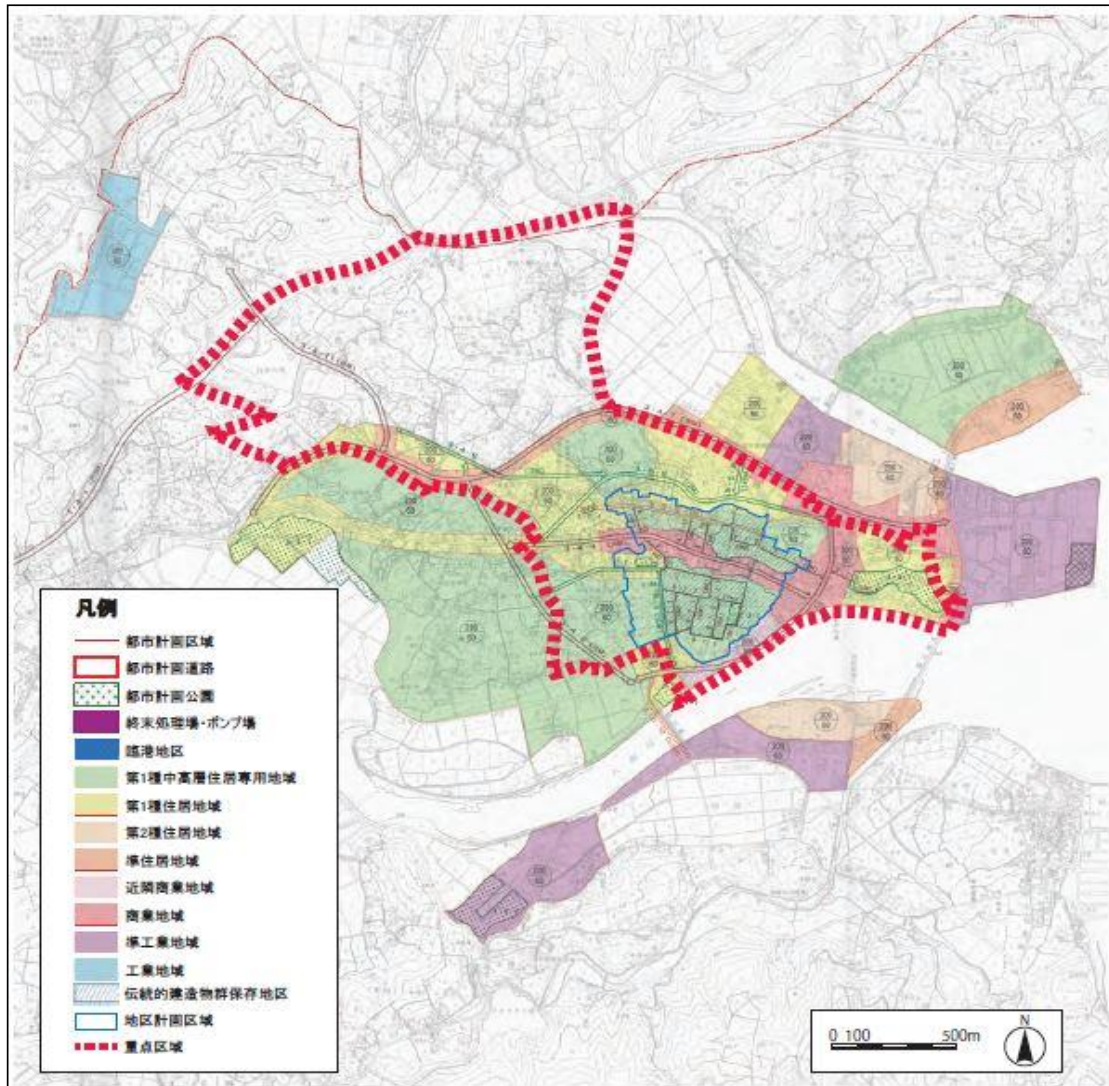


評価軸②-1
重点区域における良好な景観を形成する施策

| 項目 | | 評価対象年度 | 令和7年度 |
|--|---|--------|---|
| | | | 現在の状況 |
| 都市計画との連携 | | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |
| 計画に記載している内容 | 城下重点区域は都市計画区域内にあり、第1種中高層住居専用地域、第1種住居地域、準住居地域、近隣商業地域、商業地域が含まれる。また、城下町には伝建地区が位置し、その周囲に杵築市城下町地区地区計画区域を定め、きめ細やかな誘導を図っている。 本計画の推進にあたっては上記をふまえ、都市計画行政との連携を図りながら良好な景観の形成に取り組んでいく。 | | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | | |
| 用途地域や城下町地区地区計画、景観計画に基づき、建築物や工作物等における用途や行為に関して、適正な制限および土地利用等を図り、良好な景観形成に努めた。 | | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 伝建地区及び城下町地区地区計画区域での建築行為等は届出を提出することとしており、修景基準に適合しているかの審査を行った。今後も運用を続け、良好な景観形成を図る。 | | |

状況を示す写真や資料等

【都市計画区域及び用途地域と重点区域の関係】



評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

| 項目 | 評価対象年度 | 令和7年度 現在の状況 |
|-------------------|--------|---|
| 杵築市農業振興地域整備計画との連携 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

計画に記載している内容 城下重点区域の一部は農業振興地域内であることから、本計画の推進にあっても杵築市農業振興地域整備計画との整合を図り、秩序ある農村環境の保全に取り組んでいく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

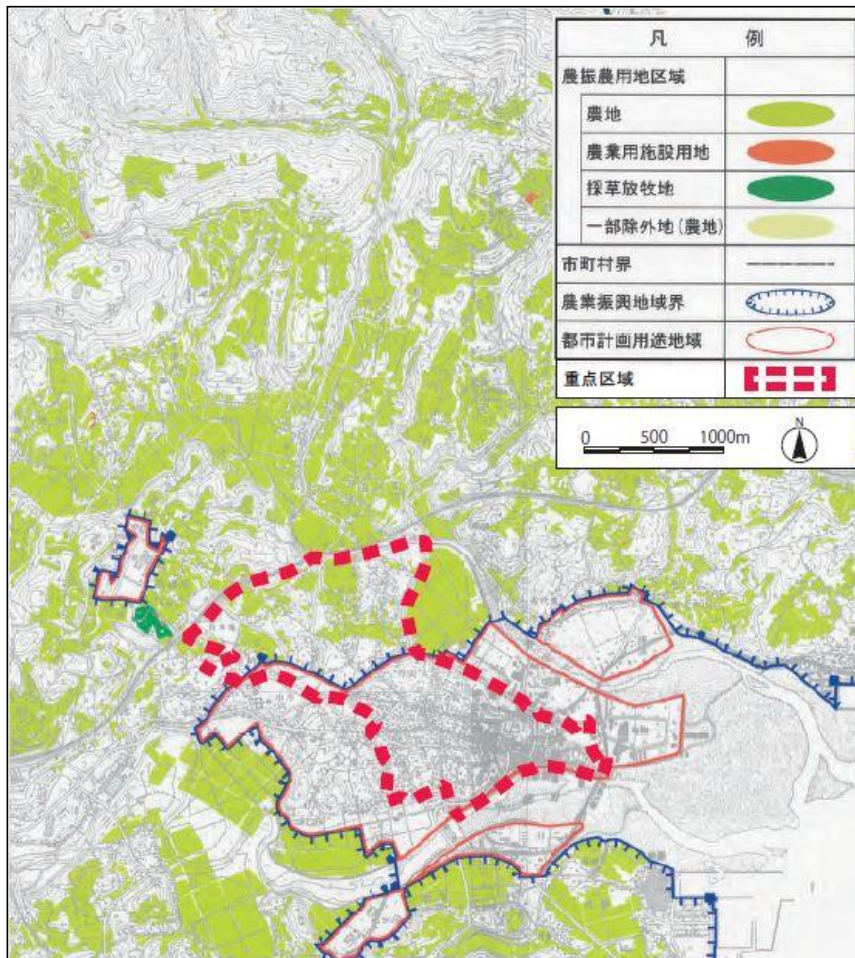
農地の保全と無秩序な市街化を予防するため、農振農用地区域内で家屋の建設、商業施設の建設等の農用地以外の用途に供することを目的とする計画がある場合、まずは農業振興地域外もしくは農業振興地域の農用地以外への誘導を検討して、やむを得ず農用地区域を含む場合は杵築市農業振興地域整備計画(農用地区域)の除外申請を提出してもらい、農地法第13条2項に照らし合わせて農用地区域からの除外の可否を行った。

重点区域内での除外・・・令和2年度:3件、令和3年度:3件、令和4年度:4件、令和5年度:2件、令和6年度:1件
令和7年度:3件

| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
|--|--------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | |

状況を示す写真や資料等

【農業振興地域整備計画と重点地区との関係】



評価軸②-3

重点区域における良好な景観を形成する施策

| 項目 | 評価対象年度 | 令和7年度 現在の状況 |
|-------------|--------|---|
| 杵築市景観計画との連携 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

計画に記載している内容
 杵築市は、豊かな自然と文化を守るため市内全域が景観計画区域に指定されている。景観法に基づく届出が必要な行為及び基準が定められ、一定規模以上の建築物・工作物等の開発に対し良好な景観を形成するよう規制している。
 城下重点区域は「まちのゾーン」及び「里のゾーン」となっており、各ゾーンに応じた良好な景観の形成に取り組んでいく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

建築物や工作物の新築、増築、改築若しくは移転、外観を変更することとなる修繕若しくは模様替又は色彩の変更、開発行為などのうち、良好な景観形成に影響を及ぼすおそれのある行為に関しては、景観法第16条に基づく届出制度により、景観誘導を図っている。
 【令和3年度】届出:53件、通知:3件(うち、重点区域内 届出:4件)
 【令和4年度】届出:54件、通知:2件(うち、重点区域内 届出:1件)
 【令和5年度】届出:47件、通知:2件(うち、重点区域内 届出:4件)
 【令和6年度】届出:31件、通知:0件(うち、重点区域内 届出:0件)
 【令和7年度】届出:26件、通知:1件(うち、重点区域内 届出:9件)

進捗状況 ※計画年次との対応

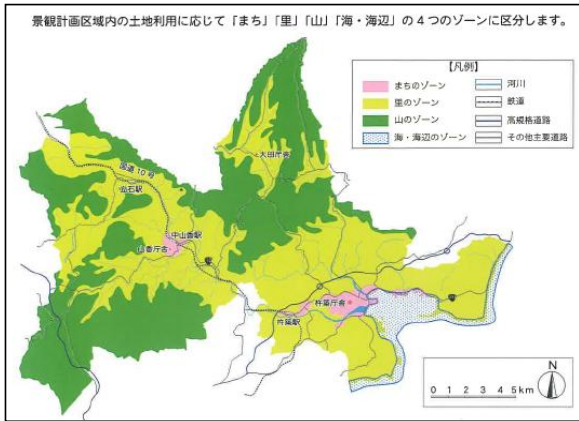
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

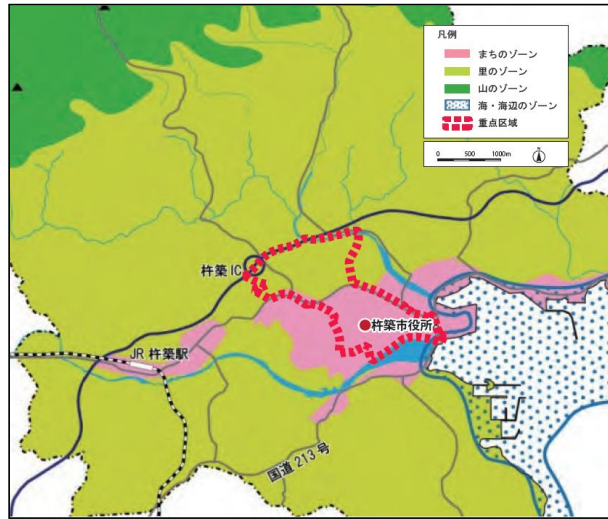
平成25年(2012年)3月に杵築市景観計画を策定した。良好な景観の形成を実施するために建築物などの新築・改築・増築や屋外広告物など、景観が変わる行為を行う際、届出が必要であり、景観計画の基準に適合するよう指導が必要である。

状況を示す写真や資料等

【景観計画のゾーン区分】



【景観計画と重点区域の関係】



【届出が必要な行為と対象規模】

| 対象となる行為 | | 規模 | |
|-----------------------------------|--|---|------------|
| 建築物 | ○新築・増築・改築・移転 ○外観を変更する修繕・模様替・色彩の変更で、当該変更に係る部分の面積が見付面積の1/2以上のもの | ○高さ10m超のもの、又は述べ面積500㎡超のもの | |
| | | a. 擁壁など | ○高さ5m超のもの |
| 工作物 | ○新築・増築・改築・移転 ○外観を変更する修繕・模様替・色彩の変更で、当該変更に係る部分の面積が見付面積の1/2以上のもの | b. 塔状工作物 | ○高さ10m超のもの |
| | | c. 遊戯施設 d. 製造施設・貯蔵施設・処理施設など | |
| 開発行為、土石類の採取、宅地の造成 その他の土地の形質の変更 | | ○面積1,000㎡を超えかつ、のりの高さ2mを超えるもの | |
| 木竹の伐採 | | ○行為に係る土地の面積の合計が500㎡を超えるもの | |
| 屋外における土砂、廃棄物、再生資源等の物件の集積又は貯蔵 | | ○面積1,000㎡を超えかつ、のりの高さ2mを超え、かつ、集積等の期間が90日を超えるもの | |
| 外観照明の新設・改設 | | ○届出対象となる建築物・工作物の外観に設置する照明 | |

評価軸②-4
重点区域における良好な景観を形成する施策

| 項目 | 評価対象年度 | 令和7年度 |
|----------------------------|--------|---|
| | | 現在の状況 |
| 杵築市北台南台伝統的建造物群保存地区保存計画との連携 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

計画に記載している内容
 城下重点区域の中心となる構成要素である杵築市北台南台伝統的建造物群保存地区は、現在に至るまで継承されてきた保存地区の「屋敷地割と町並み」、それらを彩る「天神祭りなどの文化遺産」、また構成する物件などによって形成される「歴史的風致」を守り伝えるため、行政が地域住民と協力しながら保存・整備を進めるとともに、地域全体の活性化と生活環境の向上、及び杵築市の文化的価値向上に資すること目的として取り組んでいく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

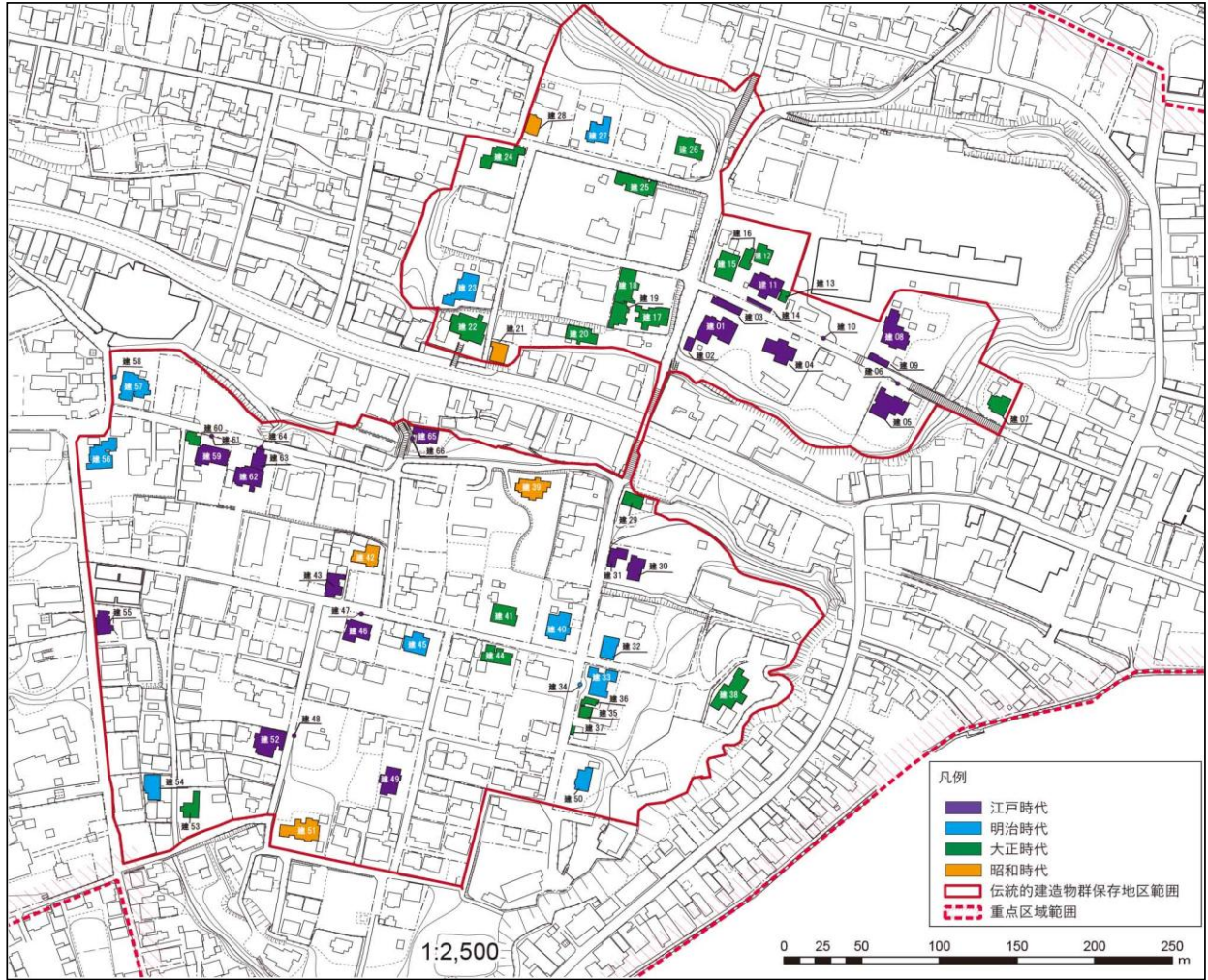
令和7年度は、公有物件である大原邸土蔵(建2)と民間所有である伊藤家薬医門(工72)の修理を実施した。また、公有物件旧田嶋家住宅の修理・活用のため、旧田嶋家保存調査(建62・建63・建64・工64-1・工64-2)を実施し、旧田嶋家保存活用計画を策定した。

進捗状況 ※計画年次との対応

| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
|--|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 令和8年度から2か年をかけて旧田嶋家住宅を保存解体し、令和10年から組立を予定している。 |

状況を示す写真や資料等

【杵築市北台南台伝統的建造物群保存地区の範囲】



評価軸②-5
重点区域における良好な景観を形成する施策

| 項目 | 評価対象年度 | 令和7年度 |
|----------------|--------|---|
| | | 現在の状況 |
| 大分県屋外広告物条例との連携 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

計画に記載している内容
 杵築市は良好な景観の形成や公衆に対する危害の防止の観点から屋外広告物法に基づき定められた「大分県屋外広告物条例」にしたがって屋外広告物の規制を行っており、城下重点区域内は大半が許可地域であるが、一部に禁止路線及び禁止地域が含まれる。
 杵築市歴史的風致維持向上計画の推進にあたっては、「大分県屋外広告物条例」による規制との整合を図った屋外広告物の誘導を行うことで、良好な景観の形成に取り組んでいく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「大分県屋外広告物条例」に基づき、屋外広告物の設置に対して許可申請を実施することで、適正な色彩、規模等へと規制・誘導を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
|--|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 良好な景観の形成や公衆に対する危害の防止の観点から、今後とも「大分県屋外広告物条例」に基づき適切な規制・誘導を行っていく。 |

状況を示す写真や資料等

【屋外広告物条例と重点区域の関係】



評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| 項目 | 評価対象年度 | 令和7年度 現在の状況 |
|---------------------|--------|---|
| 重要伝統的建造物群保存地区保存整備事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

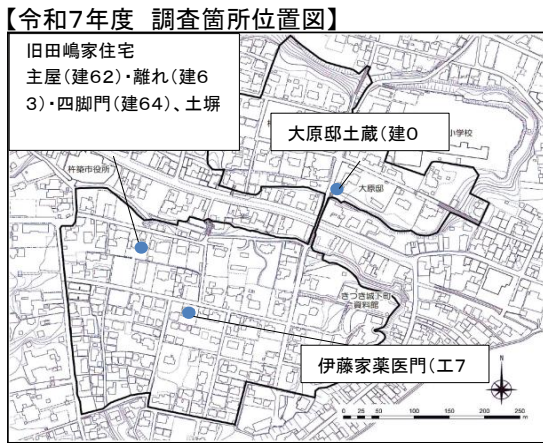
| | |
|-------|----------------------------------|
| 事業期間 | 平成30年度～令和12年度 |
| 支援事業名 | 伝統的建造物群基盤強化事業費補助金、大分県文化財保存事業費補助金 |

| | |
|-------------|--|
| 計画に記載している内容 | 北台南台地区の伝建地区において、歴史的な建造物である特定物件の保存修理を進める。 |
|-------------|--|

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で
 令和7年度は、重要伝統的建造物保存地区内の特定物件化された建造物1件(大原邸土蔵 保存計画番号:建2)と工物1件(伊藤家薬医門 保存計画番号:工72)の修理と保存調査1件(旧田嶋家住宅 保存計画番号:建62(主屋)・建63(離れ)・建64(四脚門)、工64-1(土塀)、工64-2(石垣))を実施した。また保存調査の結果をもとに旧田嶋家保存活用計画を作成した。
 毎年、修理工事を実施しており、継続的に修理を行うことで杵築市北台南台(武家町)のまちなみの景観向上につながっている。

| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
|--|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 令和8年度は、旧田嶋家住宅の保存解体を2ヵ年かけて実施し、再利用可能部材及び屋敷履歴の調査などを行い、実施設計に反映させる予定。事業を着実に実施することで杵築市北台南台(武家町)のまちなみを維持向上することができている。引き続き事業を進めていく。 |

状況を示す写真や資料等



評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | |
|-------------------|--------|---|
| | 評価対象年度 | 令和7年度 |
| 項目 | | 現在の状況 |
| 歴史的風致形成建造物の保存対策事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

事業期間 令和4年度～令和12年度

支援事業名 市単独

計画に記載している内容 伝建地区を除く重点区域全域において、歴史的風致形成建造物に指定した建造物の保存修理を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致形成建造物の候補となっている杵築城について、杵築城模擬天守活用検討会(庁内組織)を実施し、改修計画の協議を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 引き続き、風致形成建造物の認定及び保存対策に向けて調査を進めるとともに、杵築城については活用方法の検討を協議し、耐震補強を実施する。

状況を示す写真や資料等

【歴史的風致形成建造物の候補】

| 番号 | 名称 所在地 | 写真 | 文化財 指定状況 | 所有者 | 築年 | 関連する 歴史的風致 | 番号 | 名称 所在地 | 写真 | 文化財 指定状況 | 所有者 | 築年 | 関連する 歴史的風致 |
|----|---------------|----|------------------------------|-----|--|------------------------|----|-----------|----|--------------|-------|--|------------------------|
| 1 | 杵築城 | | — | 杵築市 | 昭和45年 (1970) | 城下町の 祭りにみる 歴史的風致 | 8 | 飛松天満社 | | — | 飛松天満社 | 石灯笼: 元禄5年 (1692)～ 昭和2年 (1927) | 城下町の 祭りにみる 歴史的風致 |
| | 大字杵築 | | | | | | | 大字南杵築 | | | | | |
| 2 | 佐野家主屋 及び病棟 | | — | 杵築市 | 主屋: 天明元年 (1781) 病棟: 大正15年 (1926) | 城下町の 祭りにみる 歴史的風致 | 9 | 東泉寺 | | — | 東泉寺 | 石灯笼: 寛政3年 (1791) | 城下町の 祭りにみる 歴史的風致 |
| | 大字杵築 | | | | | | | 大字杵築 | | | | | |
| 3 | 旭楼 | | — | 個人 | 明治30年 (1897) | 城下町の 祭りにみる 歴史的風致 | 10 | 杵築神社 | | — | 杵築神社 | 宮地嶽社: 明治29年 (1896) 石灯笼: 明治26年 (1983) 大正15年 (1926) | 城下町の 祭りにみる 歴史的風致 |
| | 大字杵築 | | | | | | | 大字杵築 | | | | | |
| 4 | とまや店舗兼 主屋 | | 登録有形 文化財 | 個人 | 明治8年 (1875) | 城下町の 祭りにみる 歴史的風致 | 11 | 中野酒造酒蔵 | | 市指定有形 文化財 | 個人 | 大正明 昭和期 | 城下の水利 にみる 歴史的風致 |
| | 大字杵築 | | | | | | | 大字南杵築 | | | | | |
| 5 | 綾部みそ屋 | | 市指定有形 文化財 | 個人 | 主屋: 18世紀後半 東土蔵: 明治7年 (1874) 西土蔵: 明治18年 (1885) | 城下町の 祭りにみる 歴史的風致 | 12 | 中野庄屋屋敷 | | 市指定有形 文化財 | 個人 | 文化年間 (1804～ 1818) | 城下の水利 にみる 歴史的風致 |
| | 大字杵築 | | | | | | | 大字南杵築 | | | | | |
| 6 | 御船手長屋 | | — | 個人 | 昭和45年 (1970) 以前 | 城下町の 祭りにみる 歴史的風致 | 13 | 若宮八幡社 | | — | 若宮八幡社 | 拜殿: 享保7年 (1722) 本殿: 17世紀末 | 城下の水利 にみる 歴史的風致 |
| | 大字杵築 | | | | | | | 大字宮司 | | | | | |
| 7 | 八坂社 | | 県指定有形 文化財 (石造日本 殿社) | 八坂社 | 鳥居: 大正9年 (1920) 石灯笼: 明治12年 (1879) | 城下町の 祭りにみる 歴史的風致 | | | | | | | |
| | 大字杵築 | | | | | | | | | | | | |

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | |
|---------------|--------|---|
| | 評価対象年度 | 令和7年度 |
| 項目 | | 現在の状況 |
| 歴史的建造物腐朽等対策事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

事業期間 令和4年度～令和12年度

支援事業名 市単独

計画に記載している内容 北台南台にある旧大原家住宅や旧田嶋家住宅といった歴史的な建造物の蟻害や雨漏り等の対策を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年度は、学識経験者及び地元代表等からなる旧田嶋家住宅保存活用計画策定検討会を設置し、令和8年3月に『旧田嶋家保存活用計画』を策定した。また国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(伝統的建造物群基盤強化事業)を受け、旧田嶋家保存調査を実施し、その成果を計画書に反映した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

災害対策も含め引き続き、腐朽等対策に必要な各専門業者に意見を求め、歴史的建造物の修繕スケジュールを作成する。

状況を示す写真や資料等

【旧田嶋家保存活用計画の内容検討の様子】



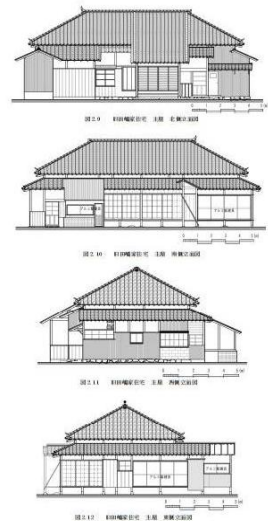
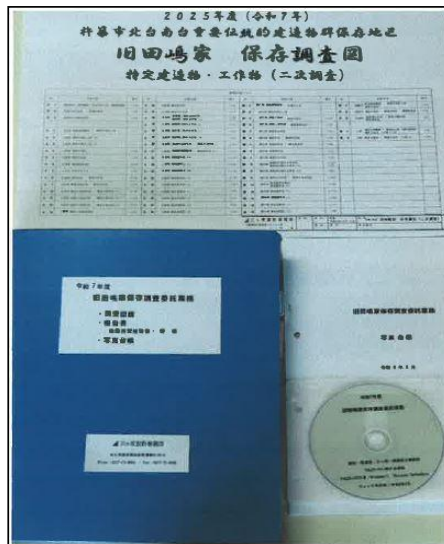
【旧田嶋家保存調査の様子】



【旧田嶋家保存活用計画】



【旧田嶋家保存調査報告書】



評価軸③-4
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | |
|----------------|---|-------|
| | 評価対象年度 | 令和7年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 歴史的建造物保存対策調査事業 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 令和4年度～令和12年度

支援事業名 市単独

計画に記載している内容 歴史的風致形成建造物の候補や、指定文化財の候補、登録文化財の候補となる建造物の実測調査等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年度は、大分県建築士会と結んだ包括的連携協定の中で、北台南台重要伝統的建造物群保存地区内の歴史的建造物である旧興津家住宅の調査及び図面化を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

次年度も必要な物件に関して記録調査を行っていく。

状況を示す写真や資料等



旧興津家主屋



旧興津家離れ



旧興津家長屋門・土塀・石垣



令和7年度興津家【主屋・土塀】建物調査報告書



調査用立面図 S=1/150



令和7年度興津家【離れ・長屋門】建物調査報告書



調査用立面図 S=1/100

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | |
|------------------|---|-------|
| | 評価対象年度 | 令和7年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 史跡杵築城跡保存活用計画策定事業 | <input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 令和4年度～令和12年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金

計画に記載している内容 令和2年(2020年)3月に国指定の史跡になった杵築城跡の適切な保存及び効果的な活用を行うための保存活用計画を策定する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和4年6月に史跡杵築城跡保存活用計画策定委員会を発足し、令和7年3月に完成した。令和7年10月に文化庁認定を受けるため計画書を提出し、現在認定待ち。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

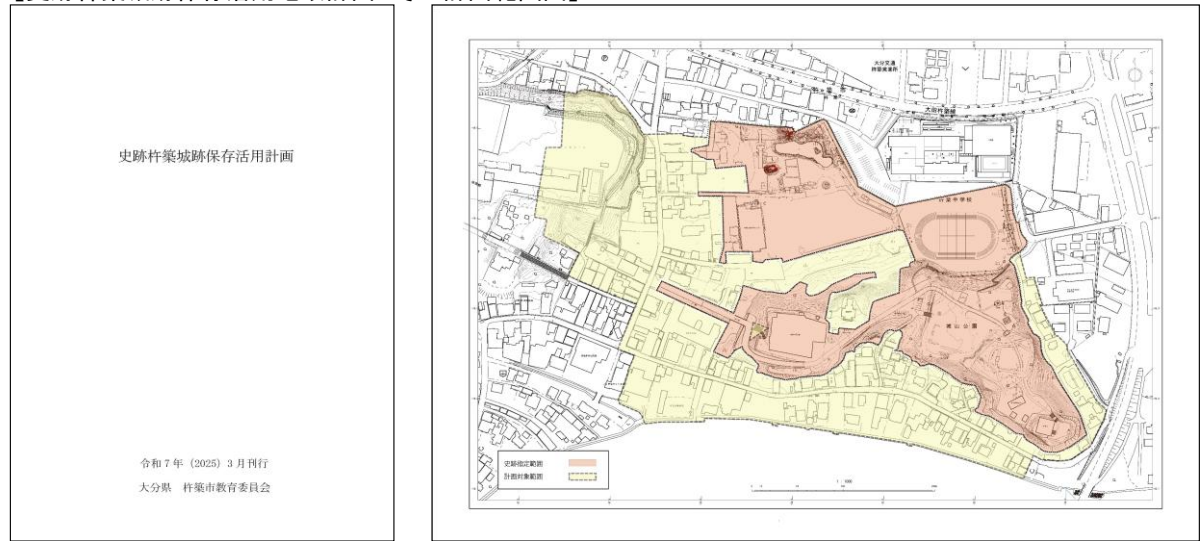
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 策定終了にともない史跡杵築城跡保存活用計画策定委員会を解散した。今後は、史跡杵築城跡保存整備委員会を発足し、具体的な史跡整備に移る。

状況を示す写真や資料等

【第1回 史跡杵築城跡保存整備委員会による現地視察の様子】



【史跡杵築城跡保存活用地域計画とその計画範囲図】



評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | 評価対象年度 | 令和7年度 |
|--------------------|--|---|-------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 重要伝統的建造物群保存地区の修景事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成30年度～令和12年度

支援事業名 伝統的建造物群基盤強化事業費補助金、大分県文化財保存事業費補助金

計画に記載している内容 北台南台地区の伝建地区において、歴史的な建造物を取り巻く建築物等の修景による整備を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年度は、修理及び調査事業のみで修景事業の実施はなかった。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

令和8年度も、杵築市北台南台(武家町)のまちなみを維持向上することができるように引き続き事業を進めていく。

状況を示す写真や資料等

【令和7年度 調査箇所位置図】



【大原邸土蔵の修理(建02)】



修理前



修理後

【南台伊藤家薬医門の修理(工72)】



修理前



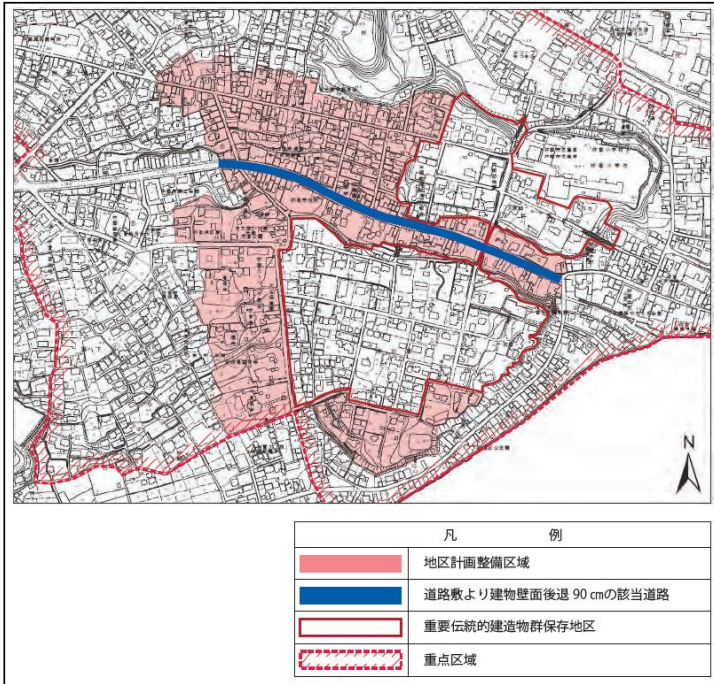
修理後

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | 評価対象年度 | 令和7年度 |
|--|---|---|-------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 地区計画修景支援事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |
| 事業期間 | 平成21年度～令和7年度 | | |
| 支援事業名 | 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) | | |
| 計画に記載している内容 | 杵築市城下町地区地区計画区域内に建築される建築物等の外観に関し、建築基準法に基づき、建築物の構造等の制限その他必要な措置を定めるとともに、杵築城下町にふさわしい景観を再生し、親しみと愛着の持てるまち並みづくりの保全を図る。 | | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | | |
| 杵築市城下町地区地区計画区域内にある建築物等の外観について、城下町の歴史的街並みと調和するように修景工事を行った事業者に対して補助金の交付を実施した。 令和7年度は、住宅の改築1件に対して、合計1,000,000円の補助を行った。 | | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 今後も計画に沿った事業推進を図る必要がある。 | | |
| 状況を示す写真や資料等 | | | |

【杵築市城下町地区地区計画整備区域の位置】



【施工前】



【施工後】



【補助金交付基準】

| 補助対象物件 | 補助対象経費 | 補助率 | 補助限度額 |
|-------------------|--|-------|-------|
| 住宅及び店舗 | 外観に係わる部分で、城下町の歴史的街並みと調和するように新築、増築及び改修による復元や保存に要する経費。 | 2/3以内 | 100万円 |
| 塀、車庫、付属構造物及び設備機器等 | 外観を城下町の歴史的街並みと調和するように新設、新築、増設、増築及び改修による復元や保存に要する経費。 | 2/3以内 | 50万円 |
| 屋外広告物 | 城下町の歴史的街並みと調和するように新築及び改修による復元や保存に要する経費。 | 2/3以内 | 30万円 |

【補助実績】

| 年度 | 件数 | 補助額 |
|--------|----|-----------|
| 平成27年度 | 5 | 2,973,000 |
| 平成28年度 | 5 | 3,232,000 |
| 平成29年度 | 6 | 2,213,000 |
| 平成30年度 | 4 | 2,707,000 |
| 令和元年度 | 2 | 2,211,000 |
| 令和2年度 | - | - |
| 令和3年度 | 2 | 2,000,000 |
| 令和4年度 | 2 | 1,229,000 |
| 令和5年度 | 2 | 2,500,000 |
| 令和6年度 | 2 | 1,500,000 |
| 令和7年度 | 1 | 1,000,000 |

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | | |
|----------|--|---|-------|
| | | 評価対象年度 | 令和7年度 |
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 空家活用支援事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成29年度～令和12年度

支援事業名 市単独

計画に記載している内容 本市への移住を希望する者が、住居として空家を購入、若しくは賃貸し、入居に必要な改修等をした場合又は空家を所有する者が移住希望者への住居の提供を目的に入居に必要な改修等をした場合における空家改修費等補助金を交付する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

空家改修費等補助金実績(市外から転入者の利用実績)

平成30年度:15世帯33人、令和元年度:18世帯36人、令和2年度:12世帯22人、令和3年度:9世帯15人
令和4年度:22世帯32人、令和5年度:11世帯17人、令和6年度:14世帯29人、令和7年度:9世帯11人

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 地方への移住意識が高まっているが、すぐ住めるような状態の良い物件は少ない状況である。住民自治協議会に協力を求め、空家物件の掘り起こしを推進する。

状況を示す写真や資料等

【空家バンクの登録状況】

※最終更新日:令和8年3月31日時点

| | 空家登録数 (期首) | 新規登録 | 成約件数(人数) | | | | 取消 | 年度末の件数 (登録数+新規-契約、取消) |
|--------|---------------|------|------------|------------|------------|-----------|------|--------------------------|
| | | | 総数 | 県外移住 | 県内移住 | 市内転居 | | |
| ～平成26年 | 44件 | 不明 | 32件(-) | | | | 不明 | ⇒ 13件 |
| 平成27年 | 13件 | 27件 | 6件(13人) | 4件(13人) | 1件(2人) | 1件(2人) | 9件 | ⇒ 25件 |
| 平成28年 | 25件 | 51件 | 18件(43人) | 10件(28人) | 8件(15人) | 0件(0人) | 12件 | ⇒ 46件 |
| 平成29年 | 46件 | 41件 | 23件(56人) | 15件(37人) | 7件(17件) | 1件(2人) | 9件 | ⇒ 55件 |
| 平成30年 | 55件 | 51件 | 26件(53人) | 5件(9人) | 15件(33人) | 6件(11人) | 14件 | ⇒ 66件 |
| 令和元年 | 66件 | 44件 | 34件(83人) | 16件(35人) | 10件(24人) | 8件(24人) | 8件 | ⇒ 68件 |
| 令和2年 | 68件 | 55件 | 36件(72人) | 12件(26人) | 7件(15人) | 17件(31人) | 14件 | ⇒ 73件 |
| 令和3年 | 73件 | 45件 | 27件(61人) | 7件(13人) | 12件(26人) | 8件(22人) | 16件 | ⇒ 75件 |
| 令和4年 | 75件 | 39件 | 45件(91人) | 22件(36人) | 14件(33人) | 9件(22人) | 12件 | ⇒ 57件 |
| 令和5年 | 57件 | 63件 | 36件(74人) | 12件(22人) | 13件(24人) | 11件(28人) | 5件 | ⇒ 77件 |
| 令和6年 | 77件 | 67件 | 46件(93人) | 17件(37人) | 21件(29人) | 8件(27人) | 3件 | ⇒ 95件 |
| 令和7年 | 95件 | 48件 | 34件(68人) | 15件(38人) | 7件(8人) | 12件(22人) | 7件 | ⇒ 102件 |
| 計 | | 531件 | 363件(707人) | 135件(290人) | 115件(226人) | 81件(191人) | 109件 | |

《空家バンク登録物件》



空家バンク登録物件①



空家バンク登録物件②

評価軸③-9

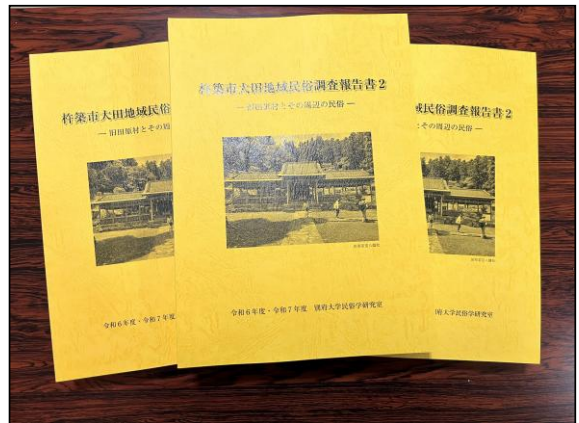
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | 評価対象年度 | 令和7年度 |
|--|---|---|-------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 伝統文化記録調査事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |
| 事業期間 | 令和4年度～令和12年度 | | |
| 支援事業名 | 市単独 | | |
| 計画に記載している内容 | 地域で受け継がれている祭事等(指定文化財又は未指定文化財)について、必要に応じて学識経験者等の指導・助言を得ながら記録調査を行い、報告書等を作成する。 | | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | | |
| 令和7年度は、市町村の課題解決事業を利用して、別府大学民俗学研究室と共に大田地域の旧田原村周辺の民俗調査を実施した。研究室が主体となり、大田地域の調査成果を報告書にまとめ、10月26日に大田中央公民館多目的ホールにて「大田地域の民俗について」と題し、地元への調査報告会を実施した。大田地域としては2冊目の報告書となりこの調査で大田地域全体の調査は終了した。 | | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | | 令和8年度は、官学連携事業を継続し、別府大学民俗学研究室とともに山香地域の上地区の民俗調査を行う予定である。 | |
| 状況を示す写真や資料等 | | | |

【令和7年度 別府大学民俗学研究室との官学連携事業】



学生から教育長への調査報告書贈呈式の様子と新聞記事



『杵築市大田地域民俗調査報告書』

【地元調査報告会の様子】



【下沓掛地区での聞き取り調査での様子】



評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| 項目 | | 評価対象年度 | 令和7年度 現在の状況 |
|-----------------|--|--------|---|
| 文化財保存活用地域計画作成事業 | | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

事業期間 令和4年度～令和6年度

支援事業名 文化芸術振興補助金(地域文化財総合活用推進事業)

計画に記載している内容 杵築市の歴史的文化的な資源の保存・活用に関して将来的なビジョンや具体的な事業等の実施計画を定めるため、文化財全般にわたる調査や台帳整備が必要である。文化財保存活用地域計画を作成し、杵築市の歴史文化の振興及び地域活性化を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年度は、引き続き、文化芸術振興補助金(地域文化財総合活用推進事業)を用いて計画作成を実施した。6月9日に公募型プロポーザル方式によって決定した作成支援委託業者と契約を締結し具体的な内容の作成に着手した。7月11日に第2回策定協議会を開催し、調査方針、計画の骨子、文化財リスト、アンケート内容などの検討を行った。主な作業としては、文化財に対する意識調査を行い、庁内関係課との対面ヒアリング、文化財関係団体との対面ヒアリング、小・中学生に向けたアンケート、杵築市民に向けたアンケートを実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
□計画どおり進捗していない 令和8年度は、引き続き作業員を配置し、具体的な情報収集を進め、協議会にて具体的な計画内容の検討を行う予定。

状況を示す写真や資料等

【第2回杵築市文化財保存活用地域計画作成協議会】



【市民アンケート周知資料及びアンケート表紙】

【大分県文化財保存活用大綱 令和3年3月発】

杵築市の文化財の保存・活用に関するアンケートにご協力ください

杵築市には、地域の歴史文化を語る上で欠かせない文化財が多く受け継がれています。一方、杵築市では人口減少、少子高齢化が進んでいます。手入れ不足による文化財の風化や、文化財を継承する担い手の不足等が大きな問題となっており、手立てが必要です。

こうした状況を踏まえ、杵築市では、文化財をみんなで守り、活かし、伝えていく『杵築市文化財保存活用地域計画』の作成に着手したところです。市民との協働や市民関係との連携により、文化財の保存と活用のバランスを図りながら、できることを実行し、実行していく地域活動の推進を期待しています。

このアンケートは、市民の思いに応える計画づくりを目指し、市民の文化財に対する認識や関心を伺うものです。アンケートの結果は、他の用途に用いることはございません。また、印刷や市公式ホームページに掲載する等の用途を予定しています。 ※「市公式ウェブサイト」に詳細な説明を掲載いたします。

主な質問内容

- 杵築らしい歴史的文化財を継承すべきと思うか
- 杵築市の文化財といったとき思い浮かぶもの・こと
- 文化財を継承・活用していくために必要なことに取り組むと良いか
- 市民の文化財を継承・活用していくために、参加してみたい、希望できると感じるか
- 杵築市の文化財に関する情報をどこから得ているか

問い合わせ先
 杵築市教育委員会 文化・スポーツ課 文化財班
 〒870-0001 大分県杵築市大字大字2-2-1(市民活動センター)
 TEL 0974-63-5528 FAX 0974-63-5529

※「市公式ウェブサイト」に掲載

裏面に「文化財保存活用地域計画」の説明を記載しています。ご覧ください。

文化財に関する市民アンケート

このアンケートは、市民の思いに応える計画づくりを目指し、市民の文化財に対する認識や関心についてお伺いするものです。結果を公開いたします。ぜひアンケートにご協力ください。

■杵築市の文化財について

文化財とは、「古い歴史の中で日々と受け継がれてきた文化的な遺産」を指します。仏像、絵巻、書画、彫刻、土器・磁器、建築等、有形のものと、伝説、歌謡や民謡、舞踊などの「目」や、お祭りなどの地域の伝統的な行事、長い年月のうちにその地域の風土によって形づくられた職人や伝統的な技術の残る職人など、無形の文化財です。

杵築市でも、以下のマップに載っている文化財をはじめ、地域の歴史文化を語る上で欠かせない文化財が多く受け継がれています。

市全体マップ

市庁舎 1

大分県文化財保存活用大綱

「地域とともに活かして守る 大分の文化財」

令和3年3月
大分県教育委員会

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| 項目 | 評価対象年度 | 令和7年度 |
|-------------|--------|-------------------------------|
| 文化財案内板等整備事業 | | 現在の状況 □実施済 ■実施中 □未着手 |

事業期間 令和4年度～令和12年度

支援事業名 市単独

計画に記載している内容 多言語に対応した文化財を解説する案内板のほか、来訪者向けの誘導サイン及びマナーを周知する案内板等の設置を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年度も昨年に引き続き、国・県指定文化財の確認に合わせて看板の状況確認を行い、劣化状況等を確認し修理が必要なもののリスト作成中である。また以前から要望のあった文化財説明版のうち、新設1枚、修繕1枚を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
□計画どおり進捗していない 今後も文化財看板の現状把握調査を実施し、整備を進めていく。

状況を示す写真や資料等

【令和7年度に整備をした看板】

【新設】石書醍醐妙典蝗虫供養塔(市指定有形民俗文化財)



設置前



設置後

【修繕】延隆寺仁王像(市指定有形文化財)



修繕前



修繕後

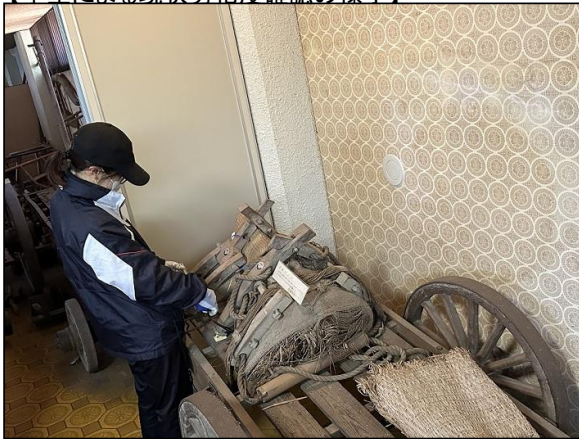
評価軸③-12
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | | |
|--|---|---|-------|
| | | 評価対象年度 | 令和7年度 |
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 歴史資料収蔵庫整備事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手 | |
| 事業期間 | 令和8年度～令和12年度 | | |
| 支援事業名 | 市単独 | | |
| 計画に記載している内容 | 本事業では、伝建地区内にある、きつき城下町資料館において杵築市の歴史資料を保管する収蔵場所の整備を行い、資料の一般公開と併せ適正な保管や調査・研究を行う。 | | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | | |
| 令和7年度は、旧市立図書館に保管されている民具資料を別府大学の学生による民具台帳作成と現状劣化度の確認を実施した。本民具資料は、令和4年度に学識経験者に指導を受け、令和6年に別府大学博物館実習として民具の清掃及びナンバリングを実施し、段階的な整理が進んでいる。 | | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 引き続き、資料館内外に保管されている資料の状況確認を行い、収蔵庫整備に向けた情報収集を行う。 | | |
| 状況を示す写真や資料等 | | | |

【杵築市所蔵民具台帳(馬鋏)】

| | | | |
|-----------|--|-------|-------|
| 杵築市所蔵民具台帳 | | 記入者 | 記入年月日 |
| 資料番号 | | 30 | 民具分類 |
| | | 農具 | 劣化分類 |
| | | B | |
| 名称 | 一般名 | 馬鋏 | 地方名 |
| 寸法 | 幅 | 865 | 奥行 |
| | | 445 | 高さ |
| | | 775 | |
| 収蔵場所 | 杵築 | 想定される | 田畑 |
| | | 使用環境 | 山林 |
| | | | 海辺 |
| | | | 屋内 |
| | | | 水場 |
| | | | 平地 |
| 受入種別 | <input type="checkbox"/> 寄贈 <input type="checkbox"/> 寄託 <input type="checkbox"/> 製作 <input type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> 交換 | | |
| 氏名 | 井之口 | 運行 | 年 月 日 |
| 材質 | 1.木 2.竹 3.藤 4.紙 5.皮革 6.その他有機物 7.金属 8.石 9.ガラス 10.その他無機物 | | |
| 劣化状況 | <input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 破損 <input type="checkbox"/> 欠損 <input checked="" type="checkbox"/> 亀裂 <input type="checkbox"/> 緩み <input type="checkbox"/> 押け <input checked="" type="checkbox"/> 虫害(表面・内部) <input type="checkbox"/> カビ(表面・内部) <input type="checkbox"/> 腐食 <input type="checkbox"/> 蜘蛛の巣 <input type="checkbox"/> 虫の付着 <input type="checkbox"/> 硬化 <input checked="" type="checkbox"/> 錆 <input checked="" type="checkbox"/> 腐蝕 <input type="checkbox"/> 褪色 <input type="checkbox"/> 塩害 <input checked="" type="checkbox"/> 汚れ <input type="checkbox"/> ほこり <input type="checkbox"/> しみ <input type="checkbox"/> その他 | | |
| 製作技術の有無 | <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 同型 <input type="checkbox"/> あり(全く同じ) <input type="checkbox"/> あり(一部異なる) <input type="checkbox"/> なし | | |
| 材質ごとの分類 | 1.可能 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 3.不可能 2.一部可能 (木・金属、藤) | | |
| 全体写真・現状 |  | | |
| 使用年代 | <input type="checkbox"/> 新かせる <input type="checkbox"/> 新かせる <input type="checkbox"/> 移動 <input type="checkbox"/> ※足場注意 | | |
| 製作年代 | | | |
| 製作者 | | | |
| 製作法 | 備考 | | |
| 用途など | | | |

【学生による現状劣化度確認の様子】



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

| | | 評価対象年度 | 令和7年度 |
|--|--|---|-------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 文化財の保存又は活用に関する事項 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |
| 計画に記載している内容 | 歴史的な建造物や、歴史や伝統を反映した人々の活動などの文化財の調査を計画的に推進し、記録作成や指定・登録等の制度の活用等による適切な保護を図る。また文化財保護法に基づく「文化財保存活用地域計画」の作成や、指定等文化財については、必要に応じて個別に「保存活用計画」を作成し、適切な保存活用に取り組んでいく。 | | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | | |
| 令和7年度は、引き続き文化財保存活用地域計画を作成し、10月29日に文化財諮問機関である杵築市文化財調査委員会に進捗を報告し、「長昌寺木造阿弥陀如来立像」を新たに市指定有形文化財(彫刻)に指定した。また、県指定無形民俗文化財の現地確認を行った。併せて市指定に向けた指定文化財について学識経験者の指導を受けた。 | | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | | 次年度も「文化財保存活用地域計画」の作成も視野にいて未指定を含む文化財の調査を実施していく予定である。 | |
| 状況を示す写真や資料等 | | | |

1. 文化財調査委員会への報告

市指定有形文化財(彫刻)「長昌寺木造阿弥陀如来立像」が追加され、指定文化財件数は190件となった。



文化財調査委員会の様



長昌寺木造阿弥陀如来立



現地指導の様子

2. 無形民俗文化財の確認

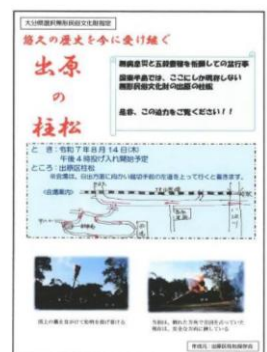
令和7年8月14日に実施された県記録選択無形文化財である「出原の柱松」の現地確認を行った。6年の休止を経て再開。担い手の減少により以前の太く重たい柱松を建てるのが難しくなったため、柱を細くし、軽量化を図ることで伝統文化の継承をする工夫が見られた。



人力で柱松を建てる様



投げ松明によって柱松に火が付く様子



地元作成チラシ

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

| 項目 | 評価対象年度 | 令和7年度 現在の状況 |
|------------------|--------|---|
| 文化財の修理(整備)に関する事項 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

計画に記載している内容 城下重点区域内で、歴史的風致を形成している歴史的建造物の修理を行うことで、良好な市街地環境の形成につながり、城下に息づく人々の営みににみる歴史的風致の維持及び向上に寄与する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年度は、令和5年度からの3カ年で実施する杵築若宮八幡社境内環境整備事業の3年目にあたり、成長して建造物に被害を与える危険性がある樹木の剪定を実施した。本年度で当該地の文化財整備は完了した。

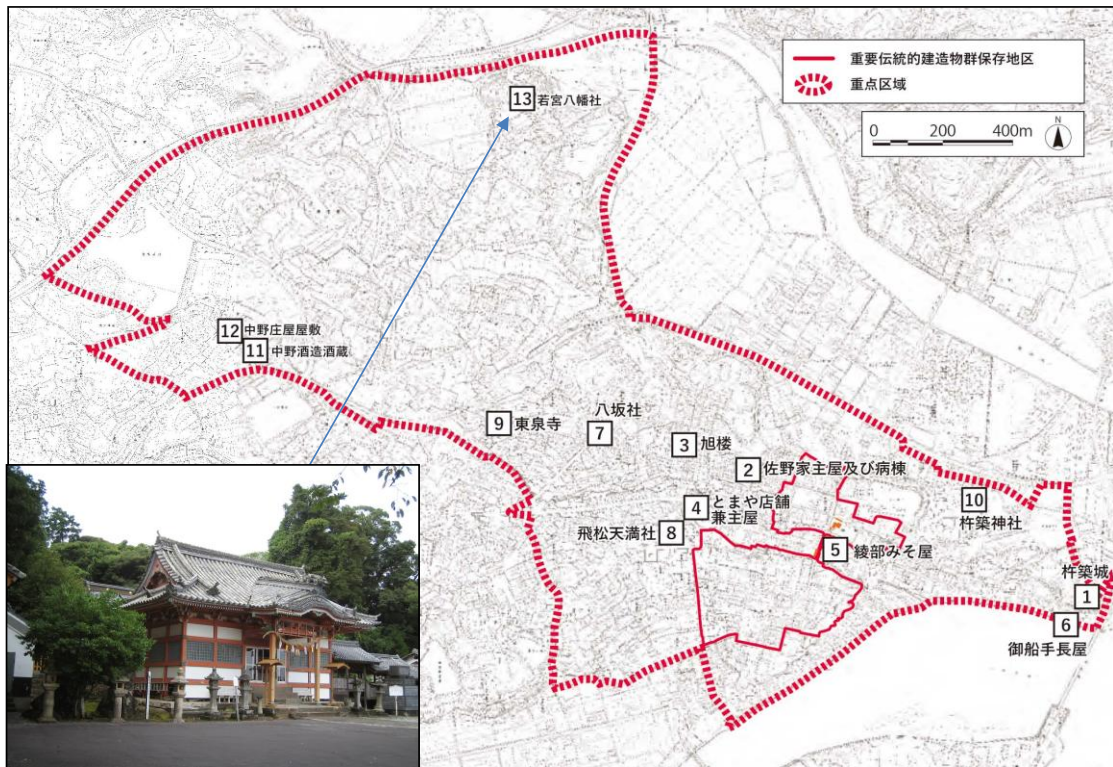
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

令和8年度は、重点区域内にある県指定名勝の整備を予定しており、引き続き文化財の維持管理をしていく。

状況を示す写真や資料等



整備前



整備後

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

| | | |
|-------------------------|---|-------|
| | 評価対象年度 | 令和7年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 文化財の保存・活用を行うための施設に関する事項 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

計画に記載している内容 収蔵施設としては集約化を含めた施設整備を検討し、防災対策や保存に適した設備の充足を図る。展示施設としては各施設に応じた展示内容の充実、ユニバーサルデザインに配慮した設備の充足を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年度は、旧市立図書館に保管されている民具資料を別府大学の学生による民具台帳作成と現状劣化度の確認を実施した。本民具資料は、令和4年度に学識経験者に指導を受け、令和6年に別府大学博物館実習として民具の清掃及びナンバリングを実施し、段階的な整理が進んでいる。

進捗状況 ※計画年次との対応


実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

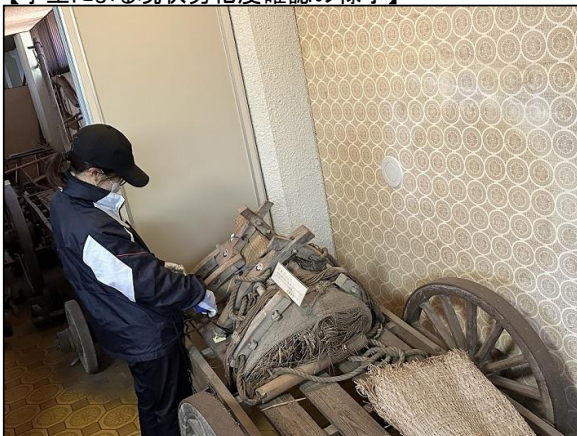
引き続き、資料館内外に保管されている資料の状況確認を行い、収蔵庫整備に向けた情報収集を行う。

状況を示す写真や資料等

【杵築市所蔵民具台帳(馬鍬)】

| | | | |
|-----------|--|---------|---|
| 杵築市所蔵民具台帳 | | 記入者 | 記入年月日 |
| | | 資料番号 | 30 |
| | | 民具分類 | 農具 |
| | | 劣化分類 | B |
| 名称 | 一般名 馬鍬 | 地方名 | モウガ |
| 寸法 | 幅 865 奥行 445 高さ 775 | 全体写真・現状 |  |
| 収集場所 | 杵築 認定される 使用環境 | | |
| 受入種別 | 氏名 井之口 運行 年 月 日 | | |
| 材質 | 1.木 2.竹 3.藁 4.紙 5.皮革 6.その他有機物 7.金属 8.石 9.ガラス 10.その他無機物 | | |
| 劣化状況 | <input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 破損 <input type="checkbox"/> 欠損 <input checked="" type="checkbox"/> 亀裂 <input type="checkbox"/> 緩み <input type="checkbox"/> 弾け <input checked="" type="checkbox"/> 虫害(表面・内部) <input type="checkbox"/> カビ(表面・内部) <input type="checkbox"/> 腐食 <input type="checkbox"/> 蜘蛛の巣 <input type="checkbox"/> 虫の付着硬化 <input checked="" type="checkbox"/> 錆 <input checked="" type="checkbox"/> 剥離 <input type="checkbox"/> 褪色 <input type="checkbox"/> 塩害 <input checked="" type="checkbox"/> 汚れ <input type="checkbox"/> ほこり <input type="checkbox"/> しみ <input type="checkbox"/> その他 | 使用年代 | 1.動かせる 2.動かせなさそう 3.動かさず ※足場注意 |
| 製作技術の有無 | あり 同型 あり(全く同じ) あり(一部異なる) なし | 製作年代 | |
| 材質ごとの分離 | 1.可能 2.一部可能 3.不可能 | 製作法 | |

【学生による現状劣化度確認の様子】



評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

| 項目 | | 評価対象年度 | 令和7年度 |
|---|--|--------|--|
| 文化財の周辺環境の保全に関する事項 | | | 現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |
| 計画に記載している内容 | 伝建地区内や地区計画区域内では修景が進みつつあるものの、未だ十分ではないことから今後も伝建地区や地区計画と連携して、継続的に修景の支援に取り組んでいく。空き家については周辺環境との調和が図られるよう、活用を支援していく。 | | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | | |
| 令和7年度は、秋田県立大学と日本文理大学の調査研究に協力し、伝統的建造物群保存地区内にある特定物件を最先端機器を使用した非破壊腐朽部材調査の実証実験を行った。調査は、目視試験による一次診断、超音波伝播速度測定(非破壊試験)および穿孔抵抗値測定(微破壊試験)による二次診断を行い、現状の状況把握を行った。 | | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 空き家等は景観や防災、防犯面を考慮し、景観と調査した改修による活用の支援を講じながら次年度も引き続き計画を実施していく予定である。 | | |
| 状況を示す写真や資料等 | | | |

【令和7年度 調査箇所位置図】



【伊藤家主屋】



【目視試験による一次診断の様子】



【超音波伝播速度測定(非破壊試験)の様子】



評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

| 項目 | | 評価対象年度 | 令和7年度 |
|--------------|--|--------|---|
| | | | 現在の状況 |
| 文化財の防災に関する事項 | | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

計画に記載している内容 文化財の保存・活用に係る施設については自動火災報知器や消火設備等の防火設備、耐震設備及び防犯カメラ等の防犯設備の設置を充実させていく。さらに、防災意識の定着を図るため、防災訓練等に継続的に取り組んでいく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年度は、文化財防火デーの一環である住民と合同で行う防火訓練を実施した。本年は、杵築地域にある八幡奈多宮にて、模擬文化財を使用した文化財搬出訓練や初期消火訓練を実施した。

| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
|--|--------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 次年度も引き続き計画し、実施していく予定である。 |

状況を示す写真や資料等

【八幡奈多宮での消防訓練】



地元住民によるバケツリレーの様子



消防職員による放水訓練の様子



消防署職員による消火器の実演指導の様子



地元住民による消火器訓練の様子

評価軸④-6

文化財の保存又は活用に関する事項

| 評価対象年度 | | 令和7年度 |
|------------------------|--|---|
| 項目 | | 現在の状況 |
| 文化財の保存及び活用の普及・啓発に関する事項 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

計画に記載している内容 杵築市観光協会やボランティアガイド等と連携し、新たなガイドルートの検討や文化財に関する案内版、誘導サインの設置に取り組む。またきつき城下町資料館を拠点として、市民や来訪者が楽しみながら、文化財への関心を育めるような展示やイベント等に取り組んでいく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年度は、「古文書初心者講座」を全10回開催した。また例年通り、子ども探検隊も杵築城下町を中心に全5回を実施。副読本『きつきの歴史・文化財なるほど！ブック』を市内の小学校の新4年生190名に配布した。

| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
|--|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 次年度も講座を計画し、実施していく予定である。また副読本も新4年生に配布する予定である。 |

状況を示す写真や資料等

1 古文書初心者講座

- (1) 回数：全10回(6月から3月の第3土曜日)
- (2) 場所：きつき生涯学習館
- (3) 参加者：26名
- (4) 内容：「杵築城下町町役所文書」(通称町役所日記)の解説・判読



古文書初心者講座の様子

2 子ども歴史探検隊事業

- (1) 回数：全5回(8月~12月に各1回)
- (2) 場所：市内全域
- (3) 参加者：14名(全回数合計人数)
- (4) 内容：古代史体験&ミニチュア土器づくり、大分県立歴史博物館見学、稲刈り&昔の道具体験、城下町見学、山城探検



紙粘土でのミニチュア土器づくりの様子

3 副読本『きつきの歴史・文化財なるほど！ブック』

- (1) 配布先
 杵築小学校、八坂小学校、大内小学校、護江小学校、豊洋小学校、東小学校、北杵築小学校、山香小学校、立石小学校、大田小学校の小学4年生



『きつきの歴史・文化財なるほど！ブック』

評価軸④-7

文化財の保存又は活用に関する事項

| 項目 | 評価対象年度 | 令和7年度 |
|-----------------|--------|--|
| 埋蔵文化財の取扱いに関する事項 | | 現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

計画に記載している内容 重点区域内の周知の埋蔵文化財包蔵地については、貴重な遺跡として保護に努めていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年度は、重点区域内の開発行為に伴う申請件数7件に対し、発掘調査3件、工事立会1件、慎重工事3件を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

次年度も引き続き埋蔵文化財の適切な保護措置を図っていく。

状況を示す写真や資料等

【発掘調査の様子】



評価軸④-9

文化財の保存又は活用に関する事項

| | | 評価対象年度 | 令和7年度 |
|--|--|--------|---|
| 項目 | | | 現在の状況 |
| 各種団体の体制整備に関する事項 | | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |
| 計画に記載している内容 | 文化財の保存・活用に関する活動を行う主な団体に対し、効果的な情報や活動の発表機会の提供、広域的な情報発信、団体相互の交流促進に取組み、団体の活動の活性化を図る。 | | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | | |
| 令和8年1月にボランティアガイド養成講座の一環で、市文化財担当者が講師となり、城下町きつきボランティアガイドに対し、伝建地区や史跡杵築城跡にてフィールドワークを実施した。また令和8年3月には、大分県教育庁文化課主催の大分県文化財保護指導員研修会となり、きつき城下町資料館の視察や伝建地区での夜間巡視において、市文化財担当者が現地説明を行うなど各種団体への情報発信などを行った。 | | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 引き続き、文化財の保存・活用に関する各種団体の活動の活性化を図る。 | | |

状況を示す写真や資料等

【杵築ボランティアガイド研修の様子】



【大分県文化財保護指導員研修会の様子】



評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

| 報道等タイトル | 評価対象年度 | 令和7年度 |
|---|------------|--------|
| | 年月日 | 掲載紙等 |
| 杵築市の奈多八幡宮と若宮八幡社で「御田植祭」 子どもらが田植えの様子を演じ豊作願う | 令和7年4月7日 | 大分合同新聞 |
| 杵築市で外国人技能実習生と住民が餅づくり 伝統「おせつたい」用、交流深める | 令和7年4月21日 | 大分合同新聞 |
| 5月5日に杵築城や古い町家巡るイベント 市中心部を解説受けながら散策 | 令和7年4月28日 | 大分合同新聞 |
| 杵築市で5日にGW恒例「お城まつり」 武者行列や新企画のチャンバラ合戦も | 令和7年5月3日 | 大分合同新聞 |
| 杵築市大田地域小野地区の文化や風習を残したい 別府大生が住民に聞き取り調査 | 令和7年5月12日 | 大分合同新聞 |
| 杵築市で「どぶろく祭り」を記録した写真展 熱気や情熱伝わる100点を展示 | 令和7年5月19日 | 大分合同新聞 |
| 杵築市の若宮八幡社で夏越大祓 茅の輪をくぐり、残り半年の無事願う | 令和7年6月30日 | 大分合同新聞 |
| 25日に「城下町杵築学教室」講座 市ゆかりの堀悌吉と豊田副武、重光葵の足跡訪ねる | 令和7年7月20日 | 大分合同新聞 |
| 杵築市山香町山浦の浦篠地区で「大般若会」 住民が五穀豊穡や家内安全願う | 令和7年7月22日 | 大分合同新聞 |
| 杵築市中心部一帯で「天神祭り」 威勢のいいかけ声が響き渡る | 令和7年7月25日 | 大分合同新聞 |
| 杵築市東山香地区供養盆踊り大会、住民ら160人が参加 | 令和7年8月16日 | 大分合同新聞 |
| 杵築市の若宮八幡社で中秋祭 五穀豊穡など願い、児童が若宮楽を奉納 | 令和7年9月16日 | 大分合同新聞 |
| 杵築郷土史研究会が妙経寺などで実地見学会 | 令和7年10月15日 | 大分合同新聞 |
| 杵築市の白鬚田原神社で「どぶろく祭り」始まる 五穀豊穡と無病息災を願う | 令和7年10月17日 | 大分合同新聞 |
| 「きつき観月祭」城下町包む8千個の灯 多くの見物客らが散策楽しむ | 令和7年11月4日 | 大分合同新聞 |
| 杵築市大田の風習を別府大生が3年かけ調査 「嫁配り」や自宅での醸造…住民に報告 | 令和7年11月5日 | 大分合同新聞 |
| 杵築市で1月2～4日、八幡奈多宮周辺の歴史遺物・遺産を紹介する動画上映 | 令和7年12月27日 | 大分合同新聞 |
| 杵築市で「ひいなめぐり」 市内29カ所にひな飾り、観光客らでにぎわう | 令和7年2月17日 | 大分合同新聞 |

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

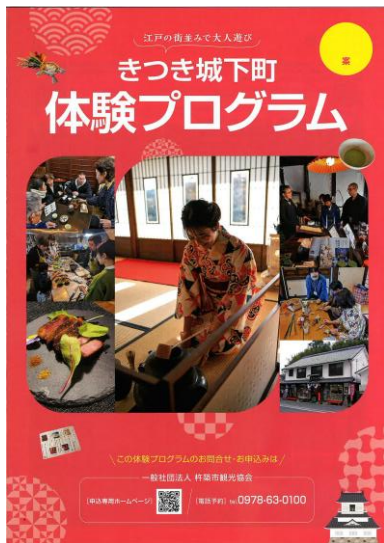
重点区域内の建造物やまちなみを活用したイベントを伝える新聞記事

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



【一般社団法人杵築市観光協会が取り扱う、きつき城下町体験プログラムのリーフレット】

項目

重点地区内の歴史的まちなみ景観への全国的注目と活用について

計画に記載している内容

城下町のみならず、重点区域一帯で文化財に関する普及・啓発に取り組んでいく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

春のひいなめぐり、秋の観月祭といった季節ごとのイベントが定期開催され、野上邸を活用したイベントも定着しつつある。また大原邸や中根邸といった文化施設は、これまで通り、各流派による茶道の会場や婚礼の前撮り、コスプレ会場に利用されており、文化施設の貸出は、令和7年度も県内在住者を中心に27回であった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり
■計画の進捗に影響なし

引き続き、城下町のみならず、重点区域一帯で文化財に関する普及・啓発に取り組んでいく。

状況を示す写真や資料等

【開催されたイベントのチラシ】



| | |
|--|-------|
| 評価対象年度 | 令和7年度 |
| ・法定協議会等におけるコメント | |
| コメントが出された会議等の名称 : 杵築市歴史的風致維持向上協議会 | |
| 会議等の開催日時 : 令和8年5月22日(金) 10:00～ | |
| (コメントの概要) | |
| <p>1) 評価軸③-3 歴史的建造物腐朽等対策事業 旧田嶋家はもう誰も住んでいないということだが、将来的には維持保存していく方針ということか。</p> <p>2) 評価軸【全体に関する事項】 この計画の全体に関わることであるが、「そこに住んでいる人たちに対する啓蒙」が重要だと考える。地域の子どもたちがどのように地域に対する誇りなどをもっていかを考えて今後も取り組みを行って欲しい。</p> <p>3) 評価軸④-4 文化財の周辺環境の保全に関する事項 大学と連携し、先端技術を使った調査というのは素晴らしい取り組み。調査の結果は記載されていないがどのようにしているか。</p> | |
| (今後の対応方針) | |
| <p>1) 評価軸③-3 歴史的建造物腐朽等対策事業 旧田嶋家は空家になってから20年程度経過しており、急激な劣化もみられる状態である為、保存活用計画を策定した、今後は利活用の方策を検討していく。</p> <p>2) 評価軸【全体に関する事項】 子ども達との学習の機会は今までも作ってきているが、学ぶ子ども達は皆非常に興味を持って話をきいてくれる。今後は座学形式だけでなく実地体験なども増やし、子ども世代の地域への誇りを育てていきたい。</p> <p>3) 評価軸④-4 文化財の周辺環境の保全に関する事項 1回目の調査では、一部うまくいかない部分もあり調査結果が出なかったため、後日再調査を実施した。今後は調査結果を精査し、公開していく予定。</p> | |